

[JPACP2020-023] シチズン・サイエンス プロジェクト：アプリケーション「マイ ME-BYO カルテ」に実装された「未病指標」の操作性の検討—実験方法について

If you are unable to see this message, click the URL below.

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2020/09/JPACP2020-023.pdf>

公益社団法人日本心理学会 認定心理士 各位

◆-----◆
「アプリケーション「マイ ME-BYO カルテ」に実装された「未病指標」の操作性の検討—実験方法について」

<https://psych.or.jp/authorization/citizen>

◆-----◆
※こちらは、以前の配信[JPACP2020-014]にてご案内した内容を再度配信しています※

「未病」とは、心身の状態を健康と病気の二分論として捉えるのではなく、「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念を指します。また、「未病指標」は、個人の現在の未病の状態を数値で見える化するものであり、生活習慣、認知機能、生活機能、メンタルヘルス・ストレスの4つの領域から、個人の未病の状態を100点満点で確認することができます。

このたび、神奈川県は、県が運営するスマートフォン用アプリケーション「マイ ME-BYO カルテ」に、「未病指標」を実装しました。未病指標を通じて、各人が自身の健康状態を知り、健康増進・維持を目標に行動を改善することは、超高齢社会を幸せに生きる人生100歳時代を実現するために不可欠です。これはSDGsのゴール3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」に資する取り組みです。

そこで本研究では、アプリケーション「マイ ME-BYO カルテ」に実装された「未病指標」の操作性を認定心理士の皆様に検討していただき、「未病指標」がより一層普及するための改善案の提案を目的として研究を行います。

下記のサイトより是非ご参加ください。

<https://psych.or.jp/authorization/citizen>

※シチズン・サイエンスとは、一般の方が行う研究活動のことです。シチズン・サイエンスは世界的に広がりを見せており、研究を職業とする科学者や公的な研究機関と協調して行われることもあります。日本心理学会は、認定心理士の皆様と研究を行い、これからの心理学を共に創り上げることを目的に、シチズン・サイエンス プロジェクトを始めました。

